



NPOフォーラム・だより No.16

2007. 7. 9

NPO法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム

〒294-0036 千葉県館山市館山95 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール npo@internet-ex.com http://www.internet-ex.com/npo/

■ 映画「赤い鯨と白い蛇」上映委員会のための試写会

安房南高校一回生のせんぼんよしこ監督が、安房・館山を舞台に女性の目線から平和と命のことを描いた映画の試写会を開きます。NPO会員の皆さんは、ふるってご参加ください。また、試写会に参加する上映委員に預けるためのチケットやチラシをセットする準備作業もあります。ぜひお力を貸してください。

上映会実行委員長・伊東万里子さん(劇団員の火主幸)は、せんぼんさんの後輩でもあり、自ら東京大空襲の被災者です。ご自身の想いや、映画のみどころなどを語っていただきます。～詳細は別紙参照。

7月12日(木) 14:00～17:00 準備作業(館山市コミュニティセンター 3階講習室)

7月14日(土) 13:30～16:30 試写会 (同 1階集会室)

ロケ地・館山で待望の上映&監督講演会 10月14日(日) 千葉県南総文化ホール

上映時間 1回目上映 13:30～15:20/監督講演 15:30～16:45/2回目上映 17:00～18:50

入場料金 大人 1,000円(当日券 1,200円)、高校生 500円、小中学生無料

主催:『赤い鯨と白い蛇』上映委員会 実行委員長:伊東万里子 事務局長:愛沢伸雄

■ 小高記念館の新企画～「知恵袋講座」

この夏から、NPO会員の皆さんに講師となっていただき、ガイド活動につながる勉強会として、「知恵袋講座」を開催することになりました。講座を通じて、会員同士の交流や意見交換の場ともなるように企画運営していきたいと思っております。参加費は無料ですが、資料がある場合は実費となりますのでご了承ください。会員外であっても参加可能ですので、地域の歴史・文化に関心のある方にもお誘いください。準備の都合上、事前にご連絡頂ければ幸いです。日程・曜日は、講師の都合等により不定期となります。

(企画係:橋本新子&愛沢彰子)

第1回 7月24日(火)午前10時～

講師:保坂明さん …新会員

(南房総市千倉町在住)

テーマ:清国船元順号の千倉漂着と遭難救助

(写真左:元順号模型、右:千倉の記念碑)

第2回 8月28日(火)午前10時～

講師:吉田昌男さん(館山市相浜在住)

世界の海をめぐる元マグロ船機関長の話



■ 親子で「北条まちなか発見ウォーク」～銀座商店街ふれあいまつり

昨年に引き続き、館山銀座商店街振興組合が開催する「ふれあいまつり」に協賛して、「北条まちなか発見ウォーク」を開催します。夏休みの自由課題に、北条の歴史・文化を学ぶ親子参加を大歓迎します。帽子・日傘・タオル・飲料水・うちわなど、暑さ対策を各自ご用意ください。

8月4日(土) 15:00～16:30 参加費200円(保険・地図代) 希望者はガイドブック600円

集合:館山駅東口「福力」前(駅前郵便局の並び)

見学地:中村屋ギャラリー(中村彝『海辺の村』複製画)、ましかどミニ博物館(川名商店)、

さいかちの木、大和屋金物店(震災を乗り越えた大正期の建物)、幸田旅館(榎本武揚の書) …など

■ NPO連絡懇談会～毎月第1火曜日、18時から小高記念館にて

□ Report スタッフ30名で、千葉女子高校の戦跡見学をガイド

6月22日(金)、千葉女子高校8クラス(325名+教員16名)の遠足があり、赤山地下壕・掩体壕・米占領軍上陸地の戦跡3ヶ所の見学と、劇団員の火(伊東万里子主宰)による『新八犬伝』人形劇ワークショップをおこないました。これに先立ち、愛沢伸雄理事長・池田恵美子事務局長による事前学習の出前授業をおこなっており、生徒たちの関心は高く、熱心に見学をしていました。

次の大型団体は、7月26・28日(木土)午前に、3年目となる世田谷学園中学の予約が入っています。ご協力をお願いします。



□ Report 明治時代に渡米したアワビ漁師・小谷源之助の子息ユージン氏と孫娘キミさん来日

房州日日新聞 6月22日 金



源之助の生家跡で説明を聞くユージンさん親子(右は山口さん)

父の故郷に感慨深く

アワビ漁 開拓の子孫 米国から来日 ゆかりの地巡る

明治時代に房州から米 助の4男、ユージン・コダ 国・カリフォルニア州モン ニさん(81)と、ユージン トレーに渡り、アワビの潜 さんの娘のキミ・コダニ 水産漁を開拓した小谷源之 源之助には男女合わせて 9人の子孫もおり、ユ

ユージンさんは末子。若いころは建築家として働き、現在はカリフォルニア州オークランドに住んでいる。ユージンさんは前日の19日、NPO 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラムが館山市内のホテルを会場に開いた催しに参加し、パーティーなどで関係者と交流した。催しには、自派で最初にアワビの潜水器漁を行った増田萬古、いち早く米田へ渡りアワビ漁の可能性を探り、源之助が渡米するきっかけとなった野田音三郎の孫らも横浜などから参加、子孫が初めて一堂に会した。

真夏を思わせる太陽が照りつけた20日は、源之助らアワビの潜水器漁に関する調査を13年にわたり続けている、南房総市千倉町の山口正明さんが案内役、館山市国際交流員のサイモン・メットカーフさんを通訳に、ゆかりの地を巡った。一行は安房博物館、同市白浜町根本の源之助生家跡、源之助の両親が眠る墓、源之助と二人三脚でアワビ漁に貢献した、弟の仲治郎の墓を訪れ線香を手向け、さらに仲治郎の生家跡を訪問し、2人を偲んだ。自分のルーツをたどったユージンさんは、疲れも見せず山口さんに盛んに質問し、「生きているうちに父母の故郷を訪れることが出来て幸せ」と感慨深げ。また娘のキミさんも「祖父が住んでいた地域、遊んでいたであろう海を見ることが出来て感動的」と話していた。来日に際し、ユージンさんや関係者と連絡をとるなどした山口さんも、長年、調査に携わってきただけに「子や孫が初めて会う機会ができ、感慨深いものがありますね」と話していた。